

## (2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者の育成
- イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

### 生涯学習課

#### 学びと活動による地域コミュニティ活性化事業

(地域で考え行動する公民館機能活性化事業) 4,155千円

##### [事業目的及び概要]

地域コミュニティの活性化へ向けた人財の育成を目的として、公民館の持つ人財の発掘〈集う〉・育成〈学ぶ〉・ネットワーク化〈つなぐ〉という機能を活性化し、公民館職員の実践的なスキルアップを図るとともに、地域住民の意識の喚起・涵養と実践力の育成に向けた取組を行い、また、公民館を地域の人財育成の拠点として継続的に機能させるための取組を行う事業である。

##### [事業内容]

- (1) 事業プランの実施（青森県公民館連絡協議会に事業委託予定）
 

平成25年度に選出された事業プランを、県のモデル実践プランとして各地域で実施する。

  - ・実施数 12事業プラン（東青2 西北3 中南3 上北2 下北1 三八1）
  - ・実施期間 平成26年4月～平成27年1月
  - ・助成金 青森県公民館連絡協議会を通じて各実行委員会へ助成金を交付する。
  - ・実施支援 生涯学習課、県総合社会教育センター及び各教育事務所は、各モデル実践プランの実施にあたり、助言・情報提供等の支援及び各取組への参加を行う。
- (2) 事業成果の普及
  - ア 県総合社会教育センターによる、各モデル実践プランの取材・配信及びDVDの配付
  - イ 事業成果まとめ冊子の作成及び各市町村教育委員会、公民館、関係機関等への配付
  - ウ 事業成果発表会の開催
    - ・平成27年3月開催予定
    - ・各実行委員会による事業成果報告等
- (3) 人財育成プログラムの開発
 

市町村教委、各公民館等において、地域住民対象の研修を行う際に必要となる研修内容やグループワーク手法等をまとめ、人財育成に係る講座を運営する際のマニュアルとして利用できるようにする。

#### 学びと活動による地域コミュニティ活性化事業

(学校発、地域とのつながり形成事業) 3,163千円

##### [事業目的及び概要]

地域のコミュニティ機能や人財育成機能を充実させ、地域での連携を深め地域ぐるみで子どもを育む活動を推進することを目的として、学校を核として、児童生徒やPTAが主体となり地域と連携した取組を行う事業である。

##### [事業内容]

- (1) 子ども発、地域お助けレンジャー事業
  - ア 進め、地域お助けレンジャー
 

小中学校のモデル校12校において、地域が抱える課題の解決に向けて、児童生徒が地域のために地域住民と共に主体的に活動を行う。
  - イ 地域お助けレンジャー活動の紹介
 

12校の取組は1枚の新聞にまとめ発行する。
- (2) PTA発、コミュニティの力アップ事業
  - ア PTAプラスCで地域いきいきモデル事業
 

12PTAにおいて、地域と協働して学習活動や交流活動を行うこと通じて、家庭と地域、学校と地域のつながりを強化する。
  - イ PTAプラスCの可能性を考えるフォーラム
 

PTA及び地域住民を対象に、PTCAをテーマにPTAと地域が連携を図ることの意義につ

- いて考えるフォーラムを西北・下北・三八の3地区で開催する。  
 ウ モデル事例の発行  
 モデル事業の2年間の取組をまとめた事例集を作成し発行する。

### 社会教育主事等一般研修 161 千円

#### 〔事業目的及び概要〕

町村に派遣されている社会教育主事及び市町村任用の社会教育主事の資質・能力の向上を図ることを目的として、専門的な研修を実施する事業である。

#### 〔事業内容〕

- 第1回 5/8 (木) 県総合社会教育センター  
 第2回 10/9 (木)～10 (金) 青森市内  
 第3回 2/24 (火) 県総合社会教育センター

## 総合社会教育センター

### パワフルAOMORI! 創造塾 1,520 千円

#### 〔事業目的及び概要〕

新たな活動者の発掘と育成、仲間づくりの促進やネットワーク(つながり)の形成・強化、活動の活性化を目的とし、対象地域を絞り2年間をかけての理論学習や活動実践等の研修を通して、地域づくりに取り組む活動者を育成する事業である。

#### 〔事業内容〕

創造実践コース(2年生)及び公開講座を実施する。

#### (1) 創造実践コース

津軽地方2年生について、モデル地域活動実践を中心に、第8研修～第10研修を受講し、ネットワーク(つながり)形成や実践力を身につける。

- ・第8研修 グループ活動…地域コミュニティ活性化に向けた企画の作成、実践。
- ・第9研修 中間報告会…実践活動についての進行状況の報告、意見交換。
- ・第10研修 卒塾式…これまでの活動の成果発表、交流会。

#### (2) 公開講座

県全域に渡った潜在的ニーズに対応するため公開形式とし、広く参加を呼びかける。また、創造塾塾生や他のセンター事業関係者に一般参加者も交え、参加者のネットワークの拡大、強化と資質の向上を図る。

#### 【第1回】

- 期 日 7/19(土)  
 会 場 県総合社会教育センター  
 内 容 ①県内教授級講師による講話「地域活動についての概論」  
 ②参加者同士の交流、情報交換

#### 【第2回】

- 期 日 9/20(土)  
 会 場 県総合社会教育センター  
 内 容 ①県内地域実践活動者による最新事例の発表  
 ②地域のつながり創造人育成事業関係者による事例発表  
 ③参加者同士の交流、情報交換

#### 【第3回】

- 期 日 11/22(土)  
 会 場 県総合社会教育センター  
 内 容 ①県外教授級講師による講話「県外の地域活動事例と考察」  
 ②センター事業関係者によるワークショップ  
 ③参加者同士の交流、情報交換

生涯学習・社会教育関係職員研修講座	748 千円
-------------------	--------

〔事業目的及び概要〕

地域づくりの中核的役割を担う生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の育成を図ることを目的として、地域課題の把握や具体的な解決方法を探るための理論学習、協働を活かした先進的取組事例の分析等の研修や、新任の生涯学習・社会教育関係職員が市町村において活動できるよう、その基礎知識についての研修を行う事業である。

〔事業内容〕

(1) 基礎研修(初任者研修)

- 開催期日：5/22(木)
- 開催回数：1回(県総合社会教育センター)
- 対象：生涯学習・社会教育関係職員初任者
- 内容：業務遂行の基礎的な知識・技能の習得

(2) スキルアップ研修

ア 中央研修

- 開催時期：6月～11月
- 開催回数：4回(県総合社会教育センター 40名×4回)
- 対象：生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等
- 内容：第1回 公共施設の活用とまちづくり  
第2回 タブレット端末のセキュリティと初歩的活用例  
第3回 地域を元気にする社会教育  
第4回 シニアの社会参加活動と学習

イ 地区研修

- 開催時期：5月～9月
- 開催回数：6回(1回×6地区 教育事務所単位)
- 対象：生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等
- 内容：6地区の課題を掘り起こしながら、それぞれの課題に対応できる即戦力となる人材を育成

### (3) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

- ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

#### 生涯学習課

**県立学校開放事業** 637 千円

**[事業目的及び概要]**

県民の生涯学習の推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

**[事業内容]**

県立学校の有する専門性を生かした公開講座を開設する。

実施予定校数：6校

対 象：一般県民

#### 総合社会教育センター

**あおもり県民カレッジ運営業務**

**[事業目的及び概要]**

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かして社会参加できることを目的として、県民の生涯学習を総合的に支援する事業である。

**[事業内容]**

(1) 運営全般

- ア カレッジ学生への対応
- イ 連携機関への対応
- ウ 事務局維持管理

(2) 普及啓発

- ア 生涯学習フェアの開催
- イ 普及啓発情報収集
- ウ 学生募集
- エ 生涯学習HPの作成

(3) 学習情報提供・学習相談

- ア 学習相談
- イ 学習情報提供
- ウ 情報紙「てのひら」作成

(4) 学習機会提供

- ア 地域キャンパス講座開催
- イ ボランティア活用支援
- ウ 専門講座開催

(5) 評価サービス

- ア 県民カレッジ学生への評価サービス

**元気青森人を創造するeラーニング推進事業** 902 千円

**[事業目的及び概要]**

自己の生き方や働き方について考えたり人生設計したりするための学習を、県民の誰もがいつでもどこでも手軽にできることを目的として、インターネットによる講座の配信を行う事業である。

**[事業内容]**

インターネットによる学習教材の配信(eラーニング)

- (1) 元気青森人PowerUpコンテンツ
- (2) あおもり学インターネット講座
- (3) 家庭教育相談

**学習情報の収集・提供事業 6,495 千円****〔事業目的及び概要〕**

県民の学習活動を支援することを目的として、各種学習情報を収集し、インターネットにより県民に提供するとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理する事業である。

**〔事業内容〕**

- (1) 学習情報の収集・提供  
4 情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供を行う。
- (2) サーバ・パソコン機器等維持管理  
青森県学習情報提供システム用サーバ・パソコン機器等を維持管理する。

**青森県視聴覚ライブラリー運営事業 693 千円****〔事業目的及び概要〕**

県総合社会教育センターに、16mm フィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともにその活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を設置し、運営する事業である。

**〔事業内容〕**

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
- (3) 教育メディア利用セミナー（青森県視聴覚・情報教育研究大会）の開催
- (4) 青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会への加入
- (5) 視聴覚教材の購入

**ボランティア関係機関職員養成講座 296 千円****〔事業目的及び概要〕**

ボランティア活動支援機関担当者の専門性向上等を目指した研修を行うとともに、福祉と教育の各分野のボランティア活動支援機関の担当者が一堂に会する会議を開催し、情報共有や交流を通してネットワークを強化することにより、本県のボランティア活動の推進及び充実を図る事業である。

**〔事業内容〕**

- (1) 講座
 

ア 目的	ボランティア活動支援機関担当者の専門性と資質の向上
イ 対象	各市町村教育委員会ボランティア担当者、各市町村ボランティアセンター担当者（社会福祉協議会）、各市町村ボランティア連絡協議会代表等
ウ 開催時期	7月～9月
エ 開催場所	県総合社会教育センター
オ 人数	30人程度
カ 開催回数	年間3回
キ 講座内容	(ア) ボランティアを支援するために必要なこと（講義・演習） (イ) コミュニケーション能力を高めるためには（講義・演習） (ウ) 人と人をつなぐコーディネート力の育成（講義・演習）
- (2) 会議
 

ア 目的	ボランティア活動支援機関担当者の各地区に関わる情報の共有化
イ 対象	関係市町村教育委員会ボランティア担当者、関係市町村ボランティアセンター担当者（社会福祉協議会）、関係市町村ボランティア連絡協議会代表等
ウ 開催時期	5月～6月
エ 開催場所	県内3地区 津軽地区、南部地区、下北地区
オ 人数	各地区30人程度
カ 会議内容	各機関の活動状況等について

## 県立図書館

### 近代文学館 特別展開催 1,899 千円

#### [事業目的及び概要]

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

#### [事業内容]

- 名称：特別展「三浦哲郎」
- 会期：7/12(土)～9/7(日)
- 内容：展示、文学講座、パネル展を実施する。
  - ア 展示 三浦哲郎（1931～2010 八戸市）は、1961年小説「忍ぶ川」で芥川賞を受賞。以後、「拳銃と十五の短篇」で野間文芸賞、「少年讃歌」で日本文学大賞、「白夜を旅する人々」で大佛次郎賞、「じねんじょ」と「みのむし」で川端康成賞、「みちづれ」で伊藤整文学賞を受賞。短篇の名手としても知られ、多くの読者を得ている。平成22年の逝去まで執筆の意欲を持ち続けた三浦の生涯と文学活動を紹介する展示を行う。
  - イ 文学講座 関係者・研究者等招き、文学講座を開催する。第1回は、県外から著名な講師を招いての基調講演やシンポジウム等とし、第2回は、県内文学研究者等による講座とする。
  - ウ パネル展 若い世代や遠隔地の県民へのサービスとして、特別展終了後に特別展の内容を再構成したパネルを作成し、学校・公共施設等で巡回展を開催する。

### 近代文学館 企画展開催(収蔵資料展) 740 千円

#### [事業目的及び概要]

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

#### [事業内容]

- (1) 「棟方志功と青森の文学」
  - 会期：4/26(土)～6/8(日)
  - 内容：国内外で多くの賞を受賞し「世界のムナカタ」と呼ばれた棟方志功（1903～1975 青森市）は、1936年には佐藤一英の詩を版画化した「大和し美し」を発表。1938年「善知鳥板画巻」で新文展特選。独自の世界を築き、文化勲章を受章した。青森出身の作家との交流に由来する資料を多数展示し、棟方志功と青森の文学の関わりについて紹介する。
- (2) 「成田千空」
  - 会期：10/11(土)～11/24(月)
  - 内容：成田千空（1921～2007 青森市）は、1946年に中村草田男の俳誌「萬緑」に参加。1953年、第一回萬緑賞を受賞した。作品を北の大地より生み続け、全国俳壇に「東北に千空あり」と称えられた成田千空の生涯とその作品を紹介する。
- (3) 「開館20年記念 青森県近代文学館名品展」
  - 会期：1/17(土)～3/15(日)
  - 内容：青森県近代文学館の開館20年を記念し、近代文学館で収蔵している資料の中から、特に貴重なものを展示する。

### アウトリーチサービス推進事業 221 千円

#### [事業目的及び概要]

来館による図書館利用が困難な重度心身障害者や要介護高齢者等に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

#### [事業内容]

利用登録者から、電話・郵便・FAXにより希望図書の申込みを受け、貸出・返却については宅配便を利用して搬送する。(4/1～3/31)

#### (4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

#### 生涯学習課

##### 生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,002千円

###### [事業目的及び概要]

生涯学習振興法の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備することを目的として、生涯学習推進本部等を運営するとともに、生涯学習推進に資する施策の重要事項について総合的に調査・審議するための生涯学習審議会を運営する事業である。

###### [事業内容]

##### (1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携・協力を図り、生涯学習関連施策を一体的・効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業についての調査を行い、その結果を「青森県生涯学習関連事業調査の結果」として取りまとめる。

##### (2) 青森県生涯学習審議会

###### ア 第11期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：H24/8/21～H26/8/20

○審議テーマ「学びと社会参加を通じた人財育成の方策について－「学びの種」を拾う－」に基づき審議した成果を報告書及び県民向けリーフレットにまとめる

○会議等の予定：第6回(5月)、教育長報告(8月)

###### イ 第12期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：H26/8/21～H28/8/20

○方針：青森県教育振興基本計画が目指す状態の実現のために、生涯学習分野が展開する施策について総合的に審議する。

○会議等の予定：第1回(10月)、第2回(2月)

##### 生涯学習・社会教育総合調査研究事業 1,231千円

###### [事業目的及び概要]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う事業である。

###### [事業内容]

一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書を作成する。

○調査テーマ：(仮)「時代の変化(現代的課題)に対応した社会教育の在り方に関する調査研究」

○調査対象：一般県民 3,000人

○顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授に調査研究顧問を委嘱する

○報告書：450部を印刷し、関係機関に配布する。

##### 青森県社会教育委員の運営 682千円

###### [事業目的及び概要]

社会教育法第17条に基づき青森県社会教育委員を設置し、本県社会教育の現状と振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行う事業である。

###### [事業内容]

##### (1) 第31期青森県社会教育委員

○委員：12名(うち専門部会委員5名、委員名簿はP.43に掲載)

- 任期：2年（H24/10/19～H26/10/18）
- 第31期青森県社会教育委員の会議における調査研究テーマ  
「各世代が共に参画する地域コミュニティづくりに関する提言～今日的課題・地域課題への対応を踏まえて～」
- 会議等の概要
  - 第5回専門部会 5月中旬：調査研究報告書（二次案）について
  - 第6回専門部会 7月中旬：調査研究報告書（三次案）について
  - 第4回全体会 9月上旬：調査研究報告書（最終案）について
  - 調査研究報告書提出 10月上旬：議長・副議長から県教育長へ提出
- (2) 第32期青森県社会教育委員
  - 委員：12名（うち専門部会委員5名の予定）
  - 任期：2年（H26/10/19～H28/10/18）
  - 第32期青森県社会教育委員の会議における調査研究テーマ  
「未定」※11月下旬の第1回全体会で決定
  - 会議等の概要
    - 第1回全体会 11月下旬：議長・副議長選出、調査研究テーマについて
    - 第1回専門部会 2月上旬：調査研究テーマへのアプローチについて

### 市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県社会教育行政」の作成 584千円

#### [事業目的及び概要]

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

#### [事業内容]

- 市町村の社会教育行政調査
- 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- 「青森県社会教育行政」の作成配付（600部作成予定）

### 社会教育主事派遣事業 51,150千円

#### [事業目的及び概要]

町村の社会教育行政及び社会教育指導体制の充実を図ることを目的として、社会教育主事の資格を有する学校職員を町村教育委員会に派遣する事業である。

#### [事業内容]

- 派遣先 中泊町、大鰐町、野辺地町、上北地方教育・福祉事務組合、佐井村、三戸町
- 派遣者数 6名

### 社会教育主事等一般研修（再掲） 161千円

(P.19 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

### 生涯学習専門講座派遣事業 160千円

#### [事業目的及び概要]

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

#### [事業内容]

- 派遣先 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名・派遣者数 社会教育主事専門講座1名、地域教育力を高めるボランティアセミナー1名

### 社会教育主事有資格者育成派遣事業 398千円

#### [事業目的及び概要]

社会教育指導体制の充実を目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員等を社会教育主事講習に派遣し、社会教育主事有資格者を育成する事業である。



## [事業内容]

派遣研修 社会教育主事講習 (弘前大学)

研修期間 7/15(火)～8/8(金) ※7/15(火)～18(金)は宿泊研修 (弘前市武道館)

**在学青少年育成費補助事業 634 千円**

## [事業目的及び概要]

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業及び青森県出身の東京都に在住する在学青少年を対象とした相談所開設事業に対して助成を行う事業である。

## [事業内容]

## (1) 高校生を対象とする講演会の開催

○内容：東京及びその近郊に在住する青森県出身者ならびに青森県にゆかりのある方々を講師に、高校生を対象とした講演会を開催する。

○実施主体と協力団体：東京青森県人会、青森県高等学校長協会

○実施場所：県内高等学校 6校(浪岡高等学校、青森商業高等学校、光星高等学校、向陵高等学校、田名部高等学校大畑校舎、大間高等学校)

## (2) 在学青少年を対象とする相談所の運営

○内容：東京都周辺の大学等に在学する本県出身の学生や、東京都周辺の大学等への進学を志す本県の高校生に対する相談窓口及び活動拠点として、相談所を運営する。

○実施主体と協力団体：東京県人会、(協力)青森県学生寮

○実施場所：青森県会館

**青森県連合青年団活動費補助事業 875 千円**

## [事業目的及び概要]

青森県連合青年団が行う事業に対し助成を行い、活動の振興を図る事業である。

## [事業内容]

青森県連合青年団が実施する下記の事業に助成する。

補助対象事業名	期日	開催場所	参加人数等
第63回青森県青年大会 (主催事業)	7月中旬～8月中旬	青森市	100名
第63回全国青年大会 (第60回全国青年問題研究集会) (主催：日本青年団協議会)	11月中旬 (3月上旬)	東京都：東京体育館 (東京都：日本青年館)	40名 (2名)
第60回青森県青年問題研究集会 (主催事業)	2月中旬 (1泊2日)	青森市 青森県卓球会館	20名

**青森県地域婦人団体連合会補助事業 200 千円**

## [事業目的及び概要]

社会教育の振興を図ることを目的として、青森県地域婦人団体が実施する事業に対して助成を行う事業である。

## [事業内容]

青森県地域婦人団体研修大会への助成

○開催期日：8/26(火)

○開催場所：アピオあおもり イベントホール

○参加者数：230名

○研修テーマ：「健康寿命を伸ばすために」～私たちができること～

**総合社会教育センター****生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲) 748 千円**

(P.20 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

## 県立図書館

**県立図書館資料整備** 60,736 千円

**〔事業目的及び概要〕**

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的として、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

**〔事業内容〕**

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備

図書館 56,240 千円

近代文学館 4,496 千円

**市町村立図書館等職員研修事業** 82 千円

**〔事業目的及び概要〕**

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を図ることを目的として、初任者研修及び実務研修を実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために青森県立図書館事業等担当者会議を開催する事業である。

**〔事業内容〕**

- |                   |       |                         |
|-------------------|-------|-------------------------|
| (1) 県立図書館事業等担当者会議 | 年 1 回 | 5/14(水)                 |
| (2) 初任者研修         | 年 3 回 | 5/21(水)・6/11(水)・6/26(木) |
| (3) 実務研修          | 年 1 回 | 10/1(水)                 |